



議会だより



元気にスタート！
猪苗代町健康マラソン大会

令和7年6月定例会・臨時会

あらし・議案審議	2
請願・委員会提出議案	4
予算審査特別委員会・人事案件・一般質問目次・臨時会	6
一般質問 8人が登壇	8
委員会レポート・議会報告会	16
わたしたちの町（猪苗代第二小学校）	18



議会だより

マチイロのご利用は下の QR コードから



App Store



Google Play

国民健康保険 税率改正!!

あいらまし

令和7年第4回6月定例会は、6月4日から6月13日まで開催されました。町長から提出された議案は、専決処分の報告5件、令和6年度繰越明許費に係る報告1件、出資法人等に係る経営状況報告5件、専決処分の承認4件、令和7年度補正予算2件、条例の一部改正1件、工事請負契約の締結2件、財産の取得2件、月輪地区財産区管理会の委員の選任、固定資産評価員の選任2件。追加議案として、財産の取得1件、監査委員の選任1件であり、すべて原案のとおり、承認・可決しました。また、委員会提出議案が2件提出され、可決しました。

一般質問は8人の議員が2日間にわたり行いました。

【審議した主な議案】

専決処分の承認を求めることについて(令和6年度一般会計補正予算)

地方譲与税や町債の確定に伴い増額計上。

【主な質疑】

問 地方交付税の4億8300万円超の増額補正の理由は。

答 除排雪にかかる経費が主な要因。前年比2億2836万5000円の増額。

令和6年度繰越明許費繰越しの報告について

令和6年度の一般会計補正予算の繰越明許費にかかる歳出予算の経費を、令和7年度に繰り越した。

【主な質疑】

問 災害救助費の対象件数は。

答 罹災証明の申請時点で準半壊と認定された家屋1件。

問 都市計画費の都市公園整備事業とは。

答 千里公園遊具更新工事。

財産の取得について 立木3万9427本 (猪苗代町字乳下7-1 25番地)

【主な質疑】

問 取得後の流れは。

答 会津森林管理署と本契約を締結し、その後、西山組合会へ売却する予定。

問 会津森林管理署と西山組合会が直接売買できない理由は。

答 入会権を持つ西山組合会が任意団体であり、土地が町の所有であるため。

国民健康保険税 条例の一部改正

令和7年度の国保税の税率を改定。改正の内容は、令和11年度から実施が予定されている県内市町村の国民健康保険税率の統一を見据えながら、医療保険分、後期高齢者支援金分、介護保険分それぞれの応能割の所得割を引き上げる一方で、応益割の均等割と平等割は据え置きとする。

なお、税率の改正は、県からの納付金確定通知に基づき行われる。

令和7年度 国民健康保険特別会計補正予算

上記条例のとおり、県からの納付金確定通知によりその納入のため必要な財源を税で確保する。

○歳入(納付いたたく税)医療給付費分・後期高齢者支援金分・介護納付金分を増額。

○歳出(県への納付金)医療給付費分・後期高齢者支援金等分・介護納付金分を増額。

62歳入歳出それぞれ762万円を増額計上した。

【審議した議案と可決状況】

件名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	結果
	長友海夢	山内浩二	鈴木元	大高佐代美	渡部一登	星野あけみ	瀧田勝昭	佐藤英一郎	長澤操	渡辺真一郎	五十嵐ミエ子	関沢和人	安齋浩明	後藤公男	
猪苗代町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	×	×	○	議	可決
令和7年度猪苗代町国民健康保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	×	○	○	議	可決

※賛成「○」、反対「×」、議長「議」、欠席「欠」同数の場合には議長が採決に加わる。

令和7年度の国民健康保険税率が決定

所得割率の推移

年度	所得割率(%)	
R4	医療	8.12
	支援	2.89
	介護	2.99
R5	医療	7.80
	支援	2.89
	介護	2.78
R6	医療	6.92
	支援	2.38
	介護	2.01
R7	医療	7.01
	支援	2.71
	介護	2.16

一人当たり国民健康保険税額の比較

			令和7年度	令和6年度	令和6年度と 令和7年度との 比較
医療保険分	応能割	所得割	49,849円	37,373円	12,476円
		均等割	20,041円	17,748円	2,293円
		平等割	8,451円	7,785円	666円
後期高齢者 支援金分	応能割	所得割	19,410円	12,527円	6,883円
		均等割	6,971円	5,983円	988円
		平等割	3,022円	3,355円	△333円
介護保険分	応能割	所得割	19,545円	13,982円	5,563円
		均等割	8,504円	6,872円	1,632円
		平等割	3,636円	2,970円	666円
合計	応能割	所得割	88,804円	63,882円	24,922円
		均等割	35,516円	30,603円	4,913円
		平等割	15,109円	14,110円	999円
			139,429円	108,595円	30,834円

※金額は、合計額から割り返した試算額になるので、応益割額は実際の金額とは合わない。

【参考】国民健康保険税率の比較

			令和7年度	令和6年度
医療保険分	応能割	所得割	7.01%	6.92%
		均等割	25,300円	25,300円
		平等割	17,900円	17,900円
後期高齢者 支援分	応能割	所得割	2.71%	2.38%
		均等割	8,800円	8,800円
		平等割	6,400円	6,400円
介護保険分	応能割	所得割	2.16%	2.01%
		均等割	10,000円	10,000円
		平等割	5,000円	5,000円

【主な質疑】

問 令和11年度からの県内市町村の国民健康保険税率の統一は、具体的にどのような形で行われるのか、方向性や税率等を示していただきたい。

答 現時点では、県から具体的な数字は示されていないが、令和8年度末には税率等を決定すること。正確な数値が決まり次第、広報等で周知していきたい。

委員会提出議案

経済厚生常任委員会

女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求める意見書

【提案理由】女性差別撤廃条約は、1979年に国連で採択され、女性があらゆる分野でいかなる形態の差別も受けない権利と平等の権利を保障している。選択議定書は、現在115カ国が批准しているが、日本はまだ批准しておらず、日本の女性の権利、ジェンダー平等を国際基準に引き上げるためにも、選択議定書の早期批准は急務である。

【提出先】衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、法務大臣、内閣官房長官、
内閣府特命担当大臣（男女共同参画）

賛成多数 可決

【審議した議案と可決状況】

件名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	結果
	長友海夢	山内浩二	鈴木元	大高佐代美	渡部一登	星野あけみ	瀧田勝昭	佐藤英一郎	長澤操	渡辺真一郎	五十嵐ミエ子	関沢和人	安齋浩明	後藤公男	
女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求める意見書	○	×	○	○	○	○	欠	○	×	○	×	○	議	議	可決

※賛成「○」、反対「×」、議長「議」、欠席「欠」同数の場合には議長が採決に加わる。

総務文教常任委員会

国の『被災児童生徒就学支援等事業交付金』による十分な就学支援を要請する意見書

【提案理由】東日本大震災によって、経済的に困窮している家庭の子どもたちの就学・修学を保障するため、令和8年度においても、全額国庫で支援する「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と、十分な就学支援に必要な予算確保を行うこと。

【提出先】復興大臣、文部科学大臣、総務大臣、
財務大臣



賛成全員 可決

あなたの声を審議しました

6月定例会で審議された「**請願**」の結果は次のとおりです。

区分	件名 （請願者・陳情者の住所及び氏名）	紹介議員氏名	付託委員会	審議結果
請願第1号	国に対し「女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求める意見書」提出についての請願 新日本婦人の会猪苗代班 代表 阿部 純子	五十嵐ミエ子	経済厚生常任委員会	採択
請願第3号	「国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」の提出を求める請願 福島県教職員組合 中央執行委員長 瀬戸 禎子 福島県教職員組合北会支部 支部長 渡部 栄一	鈴木 元	総務文教常任委員会	採択
請願第4号	字町島田地内町道の側溝・舗装補修および土側溝改修についての請願 祢次区長代理 上祢次区長 小檜山 辰也	鈴木 元	経済厚生常任委員会	採択
請願第5号	「消費税5%への減税を求める意見書」提出についての請願 消費税廃止各界連絡会事務局 服部 雅	五十嵐ミエ子	総務文教常任委員会	不採択
請願第6号	「インボイス制度廃止を求める意見書」提出についての請願 消費税廃止各界連絡会事務局 服部 雅	五十嵐ミエ子	総務文教常任委員会	不採択

【審議した議案と可決状況】

件名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	結果
	長友海夢	山内浩二	鈴木元	大高佐代美	渡部一登	星野あけみ	瀧田勝昭	佐藤英一郎	長澤操	渡辺真一郎	五十嵐ミエ子	関沢和人	安齋浩明	後藤公男	
国に対し「女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求める意見書」提出についての請願	○	×	×	○	○	○	○	欠	○	×	○	×	×	議	採択
「国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」の提出を求める請願	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	議	採択
字町島田地内町道の側溝・舗装補修および土側溝改修についての請願	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	議	採択
「消費税5%への減税を求める意見書」提出についての請願	×	×	×	×	×	×	×	欠	○	×	○	×	×	議	不採択
「インボイス制度廃止を求める意見書」提出についての請願	×	×	○	×	×	×	×	欠	×	×	○	×	×	議	不採択

※賛成「○」、反対「×」、議長「議」、欠席「欠」、同数の場合には議長が採決に加わる。

【山内浩二】
消費税の税収の約9割が社会保障に充てられている。減税により、本来、医療や介護に給付されるはずの税収をどのように補うのか不確かであるため反対とする。

【反対討論】

【渡辺真一郎】
国や地方では、消費税を減税を削る場合、何の予算を削るかという議論もせず消費税だけ下げるのは、財政運営上に問題がある。

【反対討論】

【五十嵐ミエ子】
生活・日用品の幅広い品目に影響する物価高騰から暮らしを守り、家計負担を軽減する効果的な方法である。

【賛成討論】

「消費税5%への減税を求める意見書」提出についての請願

一般質問 町政を問う

〇〇〇 主な質問事項 〇〇〇

- 渡部 一登⑧
教育環境の取り組み
- 五十嵐 ミエ子⑨
除雪対策
- 瀧田 勝昭⑩
商工観光振興の取り組み
- 鈴木 元⑪
空き家対策
- 長澤 操⑫
令和6年の交流人口の状況は
- 渡辺 真一郎⑬
町内居住の外国人
- 大高 佐代美⑭
教育
- 山内 浩二⑮
少子化に伴う支援

一般質問とは？

議員が町の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、疑問点をたずねること。本町の質問時間は、答弁を含め60分以内で1問1答方式である。

【お詫び】Youtube配信について

一般質問のQRコード（Youtube視聴）を掲載しているところですが、今月号におきましては機材トラブルにより、映像を公開できません。なお、音声のみの公開となります。お詫び申し上げます。

臨時会

(7月2日)

あらまし

令和7年第5回臨時会が開催されました。町長から提出された議案は、一般会計補正予算の1件で、原案のとおり、全会一致で可決しました。

○一般会計補正予算

物価高騰の影響を受ける飲食店業者の経営安定化と観光消費の拡大による地域経済の活性化を目的として、2,000円で3,000円分の食事券を販売する飲食店応援プレミアム食事券発行の事業費1,245万円を計上。販売期間及び利用期間は、令和7年9月1日から令和8年2月28日とする。

【主な質疑】

問 かつて実施された同様の事業では、販売開始後すぐに金券が売り切れてしまい、購入できなかったという声が多々あった。そのような意見を踏まえ、今回の対策は。

答 町民の方へは、先行販売を実施する予定。なお、購入方法や販売セット数についての詳細は、決まり次第、広報紙やホームページで周知させていただく。

～請願・陳情の手続きについて～

どうやって出すの？

請願・陳情書はいつでも提出できます。

日本語で

- 1.提出年月日
- 2.請願者・陳情者の住所
- 3.請願者・陳情者の氏名
法人の場合は「名称」「代表者氏名」
- 4.請願者・陳情者の電話番号
- 5.紹介議員名(請願のみ。陳情は不要)
- 6.請願・陳情の趣旨

を記載し、「押印」のうえ議長宛に提出して下さい。なお、必要に応じて現場の案内図、現場写真、意見書(案)などを添付してください。

申請書・陳情書の様式に決まりはありませんが、記載例などをホームページに掲載しています



議長を除く12名の委員で、令和7年度一般会計補正予算・国民健康保険特別会計補正予算を審査しました。

令和7年度 一般会計補正予算

【主な質疑】

歳入

《県支出金》

問 産地生産力強化総合対策事業補助金の内容は。

答 トマトの生産者の運営に対する補助金で、補助率は3分の1。

問 福島県担い手づくり総合支援事業補助金700万円減額の理由は。

答 当初県へ4件計上したが、コンバイン1台とレーザレベル1台の2件が不採択となったため。

《寄附金》

問 西山組合会からの寄附の内容は。

答 70周年記念事業に対する寄附金。

歳出

《総務費》

問 横山高原リゾート(株)にかかる弁護士費用の状況は。

答 不動産鑑定調査において、豪雪の影響により施設への立ち入りができず、令和6年度に実施できなかったため、令和7年度で計上した。

問 雪害により被害を受けた施設等の修繕費は、全額補填対象となるのか。

答 公共施設の被害状況は33件、金額で約3000万円。その内、建物の災害共済の保険適用見込み額は、約2000万円。残りの1000万円は一般財源による対応。なお、フェンス等の建物本体以外の修繕は、保険の対象外となる。

予算審査特別委員会
人事案件

《民生費》

問 老人福祉費の補助金773万円の内容は。

答 グループホーム等防災改修支援事業を行うという要望があった。事業の内容は、老朽化したキッチン設備、電気設備、給排水設備、内壁の修繕である。

《教育費》

問 こども園の修繕費500万円とあるが、被害は。

答 計5件の修繕。ひまわりこども園①屋根②フェンス③外壁、雪囲い、さくらこども園④外壁、エアコン配管カバー⑤屋根



積雪により変形した屋根（ひまわりこども園）

月輪地区財産区管理会の委員の選任

「月輪地区財産区管理会の委員の選任につき同意を求めることについて」

笠間嘉邦氏（山潟）を適任と認め、全会一致で同意した。

猪苗代町監査委員の選任

「猪苗代町監査委員の選任につき同意を求めることについて」

山内浩二氏（長坂）を適任と認め、全会一致で同意した。



山内 浩二 氏

猪苗代町固定資産評価審査委員会委員の選任

「猪苗代町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて」

野矢実氏（曲淵）を適任と認め、全会一致で同意した。



野矢 実 氏



いがらし 五十嵐ミエ子



Q. 除雪の負担軽減は
A. 補助事業の導入を検討してまいりたい

【質問】大雪の被害状況は。
【総務課長】本年5月9日現在の状況は、人的被害は7人、建物被害、住宅で121棟、住宅以外で136棟、店舗や工場等で13棟、そのほか、フェンスやウッドデッキ等多数の被害。公共施設は、10課33施設で被害を受けた。
【質問】今後の対応は。
【総務課長】被害を受けられた住宅等は、個別に修繕を行っていただくことになるので、災害証明書や罹災証明書の発行を随時行っている。公共施設は、被害の状況に応じて修繕作業を進めていく予定である。



わたなべ かすと 渡部 一登



Q. 猪苗代高校への教育留学生支援目標は
A. 来年度は10名を目指す

【質問】少子化が進む中で、こども園の今後の方針は。
【こども課長】現在は、ひまわりこども園とさくらこども園の2園体制を維持し、統合や民間委託は検討していない。育休退園の廃止や一時保育の条件緩和、お試し登園など支援を拡充し、選ばれる園づくりを進める。
【質問】小学校の今後の児童数減少にどう対応するか。
【教育総務課長】統合2年目を迎え、多様な学びが可能となった一方で、今後の児童数減少により複式学級が発生する可能性も見込まれる。町では教育施設適正配置推進委員会の開催も視野に入れ、地域や保護者と丁寧に協議しながら、適正な配置を慎重に検討する。



少子化で変化する教育環境

【質問】部活動の地域展開の現状と課題は。
【教育総務課長】中学校では平日は教員、休日はスポーツ少年団が指導する地域連携型を導入予定。町は登録料(1500円)と保険料(1850円)を負担し、指導者の確保にも取り組む。
【質問】今後の教育の方向性は。
【教育長】ICTや特別支援教育を充実させ、地域資源を活用した体験学習やコミュニケーションスキル等の推進により、地域とともに子どもを育てる教育を目指す。

Q. 農業振興の考えは
A. 新規就農者支援の環境整備に取り組み

【質問】小型除雪機の購入費補助の考えは。
【総務課長】他市町村の情報を収集しながら、補助事業の導入を検討したい。

【質問】本町の農業従事者の減少と耕作放棄地の現状は。
【農林課長】2005年調査では950戸、2020年調査では、586戸、15年間で364戸減少傾向にある。耕作放棄地は、令和6年度末時点で、耕地面積約3210ヘクタールのうち、約23ヘクタールが遊休農地となっている。

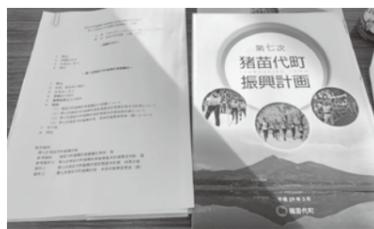


みんなで楽しく田植え

【質問】新規就農者は。
【農林課長】認定新規就農者数は本年6月1日現在で6人、毎年新規就農者1名以上を確保している。
【質問】町独自の支援策は。
【農林課長】新規就農事業補助金交付事業を行っている。支援策は、現状に応じて対応していきたい。関係機関と情報を共有し、連携しながら新規就農者への支援に取り組んでまいりたい。

Q. 振興計画の成果目標の見直しは
A. 実効性のある目標を掲げる

【質問】新たな猪苗代町振興計画のスケジュールと内容は。
【企画財務課長】第7次振興計画は令和8年度で終了予定。第8次振興計画は令和9年度からの10年計画として、町民アンケートやワークショップを通じて意見を反映し策定する。
【質問】短いスパンでの計画見直しは検討するのか。
【企画財務課長】10年計画を基本としつつ、社会変化に対応するため5年ごとの中間見直しを行い、柔軟な修正が可能な体制を整える。



改定される振興計画

【質問】計画策定における町民参加のあり方は。
【企画財務課長】町民アンケートや審議会、ワークショップを通じて多くの町民の方の意見を伺い、計画に反映させていく。
【質問】今後の振興計画に対する戦略は。
【町長】様々な社会変化に即時対応できるよう、町民や議会と連携して持続可能なまちづくりを推進する。

Q. 不登校問題解決策は
A. 安心して学べる環境が重要と認識

【質問】小・中学校における不登校児童・生徒の現状は。
【教育総務課長】小学校は、令和5年度末で13人。令和6年度の末で23人前年度から10人の増加。中学校は、令和5年度末で34人、令和6年度末で33人。前年度より1人減少。
【質問】不登校を生み出している要因は。
【教育総務課長】主に心理的、情緒的、身体的、社会的要因、教育環境等が影響している。
【質問】今後の対策は。
【教育総務課長】個々の状況に応じた支援が必要であり、学校や家庭、地域社会が連携し、安心して学べる環境整備が重要と認識している。今後、連携して相談等に対応してまいりたい。



すすき げん
鈴木 元



音声はこちら

Q. 令和6年調査での空き家の件数は
A. 平成28年から120件増の560件

【質問】所有者不明や適切な管理がされていない空き家の数は。

【総務課長】管理不足と判断される空き家と所有者不明の空き家合わせて93件。

【質問】空き家の老朽度や危険度を可視化できるリンク付けも必要では。

【総務課長】観光地である本町においては景観に配慮したリンク付けも必要。他市町村の情報を収集し検討する。

【質問】町空き家等対策計画の概要は。

【建設課長】居住環境の悪化防止と良好な居住環境の維持及び整備を図るため、空き家対策に関する基本的な方針と対策を定めたもの。

【質問】空き家利活用の有無等の意向調査も必要では。

【総務課長】空き家の利活用を進めていけるよう、アンケート調査の実施について検討する。



管理されていない空き家の対策は

【質問】所有者不明土地建物管理制度を活用し、町として積極的に関与すべきでは。

【総務課長】近隣に悪影響を与える空き家の解消に向けて有効な制度と認識している。制度活用可能な空き家の有無を含めて検討する。

【質問】管理不全空き家や特定空き家への指定も検討すべきでは。

【総務課長】金銭面や相続関係の案件も多くあり、慎重な対応が必要と認識している。

【総務課長】災害発生時に迅速かつ効果的な対応を行う重要施策と認識しており、導入に対しては団と協議し検討する。

【質問】機能別消防団員についての見解は。

【総務課長】地域防災力の強化を図るための重要な手段の一つであることから、団と協議し検討する。



地域防災の中核を担う消防団

Q. 消防団員の条例定数に対する団員数は
A. 条例定数545人に対し現団員数489人

【質問】消防団員の町内勤務者と町外勤務者の割合の変化は。

【総務課長】10年前と比較し、町内勤務者が61・8%で4・8%増、町外勤務者が38・2%で4・8%減。

【質問】後方支援や応急対策支援など、多様な役割が期待できる大規模災害団員制度に対する見解は。

【総務課長】災害発生時に迅速かつ効果的な対応を行う重要施策と認識しており、導入に対しては団と協議し検討する。

【質問】消防団協力事業所に対する優遇措置は。

【総務課長】国では公共事業入札の際の評価項目において加点されているが、町では総合評価落札方式は実施しておらず優遇措置はない。



たきた かつあき
瀧田 勝昭



音声はこちら

Q. 中央商店街への人を呼びこみは
A. ウォールアートやにぎわいの創造

【質問】中小企業支援は就労支援の後に、子育て支援に、ひいては増加につながる。そこで、地域との連携、地域との協働は。

【商工観光課長】町商工会や観光協会、中小企業と協働し、ふるさと商品券発行事業、さらには風評被害などの取組を地域一体で実施してきた。今後も、関係機関や企業、さらには金融機関、アドバイザー的な部分も含めながら、適宜、的確に町内の商業や観光産業の振興に努めてまいりたい。



地域経済・金融懇談会

【質問】中小企業と金融機関、町との関係は。

【町長】経営方針やその取組企業へのアドバイザーを兼ねて金融機関の協力が必要不可欠なものと考えている。年1回、町、町商工会、金融機関が、地域経済金融懇談会を開催し情報交換を実施している。今後は、企業振興基本条例の制定を弾みに、金融機関を含めた会議開催頻度を高め、必要な場合には学識経験者も交えて、さらなる振興策を検討してまいりたい。

Q. インバウンド対策の実施は
A. 英語なしで意思疎通の研修

【質問】企業の経営革新や企業の創造に関する考えは。

【商工観光課長】コロナ対策は100%の利子補給も実施し商工団体、中小企業と伴に制度設計してきた。今後も制度資金等の取組は検討していく。国の補助事業等事業を実施するため、国東北運輸区部の情報を商工会会員、観光協会会員と共有した。今後も取組を強化して、地域が一体となつてどのようなことをすればいいのか検討していきたい。

【質問】人が集まるところに、出店をサポート若しくは促すような施策は。

【商工観光課長】オハラブレイク、花火大会とか出店がメリットの情報発信は、不足はしていた。成功事例など、具体的に、出店を望むような取組の方法を実施していきたい。



インバウンド向き合い方講座



わたなべ しんいちろう
渡辺 真一郎



Q. 在住外国人が増加するのでは
A. 急増はしない

【質問】町内に住む外国人の実態は。
【町民生活課長】13カ国から102人が住んでいる。多い順にネパール、ベトナム、インドネシアとなっている。男性35名、女性67名。年代別では、20代、30代で過半数を占める。
【質問】外国人に大量の転出者がある理由は。
【町民生活課長】滞在期間があり、研修等の目的で一時的に転入していると推測する。
【質問】外国人居住者との摩擦も考えられ折衝できる職員の育成が必要では。
【総務課長】現在はトラブルもなく各課からの要望もない。タブレットの翻訳機能で対応する。



ながさわ みさお
長澤 操



Q. 3スキー場の利用状況は
A. 直近5シーズンで最高

【質問】各スキー場の入込は。
【商工観光課長】前年比約13万人増の27万307人。猪苗代スキー場は約19万4千人、リステルススキー場約4万3千人、沼尻スキー場3万3千人であった。
【質問】ホテル旅館の入込数は。
【商工観光課長】中ノ沢温泉のある吾妻地区は約2万2千人減の約8万5千人。表磐梯地区は約2千人増の約7万7千人となっている。
【質問】道の駅の利用状況は。
【商工観光課長】令和6年度の来場者数は約118万人で過去最高を記録する。
【質問】観音寺の桜を含む花見観光客の経済効果は。
【商工観光課長】実行委員会発表では10万人ほどの入込があり、それ相当の経済効果があったものと考えている。



イベントを開催する道の駅

【質問】飲食業等への影響や波及効果の考えは。
【商工観光課長】飲食店を紹介する食べらんしょマップ、地域活性化起業人を観光協会に派遣し、ホームページの強化やSNSでの情報発信、さらに散策マップ等工夫した宣伝に努めたい。

Q. 創業家の育成が必須では
A. 非常に大事である

【質問】町の人口が予想以上に減っている要因は、出生数の急減である。対策の実行は。
【企画財務課長】出生手当の給付、乳幼児おむつ給付事業の拡大、18歳までの医療費助成等がある。
【質問】町民から意見・アイデアの募集や、移住者からの意見の集約が必要では。
【商工観光課長】必要なことである。移住サポート制度を発足させ6名がサポーター登録している。

Q. 町民の生活環境は
A. 家族構成の変化は社会全体に影響

【質問】高齢者、一人暮らしや母子、父子家庭が多くなっている中での生活の変化は。
【保健福祉課副課長】近年の物価高騰において日々の暮らしは厳しさを増していると感じる。3月に、低所得者に支援給付金の交付や、高齢者世帯に緊急通報システムに加え、見守りライト導入や、7月からは、eフレイルナビ導入等高齢者在宅支援を行っている。
【質問】町民の生活を守る観点から町の考えは。
【町長】全ての町民が安心して生活が出来るよう、介護事業や在宅福祉サービスの充実と、包括的な福祉施策に取り組みたい。

Q. 学校統合の影響は
A. 地域との絆が弱まるのが懸念

【質問】移住された方の創業支援、特に女性支援が大事では。
【商工観光課長】創業支援は非常に大事で、まちづくり猪苗代と協力し、女性を含むスタートアップ企業の育成サポートを実施する。
【質問】教育長は学校教育においてどのような点が問題と捉えているか。
【教育長】教員が過重な業務に追われていること、いじめや不登校といった生徒指導の問題、特別支援教育を充実させることの3点がある。

Q. 学校教育の取り組みは
A. 子どもたち一人一人のニーズに合った指導支援が基本

【質問】教育の重点目標は。
【教育長】保護者や地域住民と共に課題解決をしていくコミュニケーションスキルに重点を置きたい。人と関わる力、物事を計画する力、そして行動する力を身につけさせたい。
【質問】人間形成のための道徳教育は。
【教育総務課長】学校教育の中で重要な役割を果たしており、小学校では教科化、中学校では特別教科になっており、急速な社会変化に伴い、社会総がかりでの取り組みが不可欠となっている。

【質問】時代の変化により求められる能力も変化する。教育内容の変化は。
【教育総務課長】タブレットを使用するといった変化はあるが、教科書等の変化はない。
【質問】新しい世代の割合が増え、世代間のギャップで教育現場に問題がないか。
【教育総務課長】新しい価値観を理解し実践できるように研修、支援体制を強化する。



統合後の影響は



やまうち 山内 浩二



Q. 少子化支援事業は
A. 遠方出産支援、交通費支援の実施

【質問】分娩施設が近くにない地域の助成はあるのか。
【保健福祉課副課長】遠方の分娩取り扱い施設での分娩時の移動にかかる交通費支援を行っている。取り扱い施設まで60分以上、最短経路が40km以上対象で助成している。
【質問】タクシー、公共交通機関で移動した場合は。
【保健福祉課副課長】実費額に0・8を乗じた額。その他の移動については、旅費規程に準じて算出した額に0・8を乗じた額を助成。
【質問】妊婦健診の交通費支援は。
【保健福祉課副課長】現時点で県が、要綱等を整備している段階であると同っている。今後、県からの通知により、随時妊婦健診の交通費支援を検討したい。



おおたか さよみ 大高 佐代美



Q. 不登校支援の成果は
A. 一度も当校しない完全不登校者はいない

【質問】教育支援センターの必要性は。
【教育総務課長】特別支援教育や不登校対策、学習支援など、支援を提供する拠点となるので、設置が重要であると認識している。
【質問】設置に至らなかった理由は。
【教育総務課長】教育支援に関する専門家の不足から、適切な人材を確保できない。財政的な制約もある。設置するには地域の理解が必要であり、今後の検討課題とする。
【質問】第3の居場所の確保の必要性は。
【教育総務課長】不登校の問題は保護者にも大きな影響を及ぼす重大な課題であり、第3の居場所の確保と保護者への支援が必要である。

Q. 老老介護、認知介護は
A. サポートを求めることが大事

【質問】介護サービスを利用するには。
【保健福祉課副課長】町か地域包括支援センターに相談し、介護認定を進める。
結果が、要支援の方は地域包括支援センターで、要介護の方は、居宅介護支援事業所のケアマネージャーがサービス計画を作成。費用は全額町負担。それ以外のサービスは65歳以上は所得額により1〜3割負担。



【質問】幼小連携の現状と今後の方針は。
【こども課長】令和5年度から小学校教諭とこども園保育教諭が合同研修をし、情報共有の強化に取り組んでいる。今後は、計画的にカリキュラムを作成するなど、体制の構築を進めていく。
【質問】小1プロブレムなど支援を必要とする子どもへの対応は。
【教育総務課長】特別支援教育アドバイザーを設置しており、学校と福祉担当間で連携を図り、家庭との相談体制などを整え、こどもたち一人一人に支援を行っている。



西会津町の関係団体の連携

【質問】英語教育の推進の対応は。
【教育総務課長】ネイティブスピーカーでの授業やワークショップを導入し、実践的な英語力を身に付ける機会を増やしている。
【質問】町独自のコミュニティスクールの内容は。
【教育長】こどもたちに自己肯定感や主体性、多様性、協働性を身に付けさせることが重要だと認識している。このことから、信頼できる大人と関わる機会づくりをし、学校運営協議会にこどもたちを参加させ、大人と一緒に協議をしながら学校経営の方針などを決めていく。

Q. 医療の質の向上は
A. 医師は充足している

【質問】町立病院は温知会の指定管理期間が令和9年3月だが、その後の運営は。
【保健福祉課副課長】時期協定の締結に向けて協議を行っている。

【質問】どのように町立病院の持続性を担保するか。
【保健福祉課副課長】県内の病院は、経営状況は厳しい状況にあり、温知会も同じと伺う。課題があれば、都度、協議していきたい。



Q. 南海トラフ地震への備えは
A. 情報収集しながら県と協力対応

【質問】備蓄品の現状は。
【総務課長】町水防センターの他、11施設に配置。飲料水、レトルト食品、幼児用ミルク、毛布、簡易トイレ、投光器、暖房機など避難生活に対応するため準備している。
【質問】道の駅備蓄倉庫は。
【総務課長】近年発生した実績等を基に約200名分の備蓄をしている。
【質問】発生した場合県外からの受け入れは。
【総務課長】避難受け入れマニュアルを活用して体制を整えていくことを想定。福島県は、愛知県等の即時応援県となっている。今後県で、応援体制を整備していく予定。

委員会レポート

広報広聴常任委員会



グループに分かれて意見交換

第3回 議会報告会

【概要】
5月9日18時より学びいな研修室にて開催した。報告会には、6名の参加があり、議会報告の後、4つのグループで意見交換をした。芸術・文化への意見や、道の駅の賑わいを町商店街の活性化につなげてほしいとの思い、また、防災面から水道管更新時には、消火栓が対応できる口径をとる声があった。全体の質疑では、町民からの声を議会へ報告する場となるよう要望があった。



水仙の花で和やかな雰囲気

【意見】
これまでの（平日昼間）開催をふまえ、夜間の開催とした。意見交換では、話しやすい雰囲気づくりと、各々が発言できるように配慮した。初めての方、2回、3回と足を運んで下さる町民の方の声を町政に反映できるように努めるとともに、今後も幅広い世代、多くの方の参加を頂き、開かれた議会としての目的達成のため回を重ねていく。終了後も、議会だよりへの意見・要望、各テーブルにマイクがほしいとの声もあった。次回開催へ活かしていきたい。

総務文教常任委員会

保育の実態

【概要】
ひまわりこども園、さくらこども園の両園とも園児数は減少傾向が続いている一方、長時間保育（2号認定）を行う園児と支援を要する園児は増加している。令和6年度に保育教諭の配置基準の変更もあり、保育教諭の人手にあまり余裕はない。

【意見】
現在、防犯カメラは4台設置しているが、異常があった場合に対応できるのか問題がある。園の後ろの西側や線路際が危険であるため、センサー式にして人が通ったら誰かが振り向くようなシステムを構築すべきだと思ふ。



ひまわりこども園

害などで親が迎えに来られない状況も考えられる。災害時は一斉メールも一切使えなくなり、親が迎えに来るまで確実に安全確保のために子供を預かることになる。その場合の引き渡し訓練などは実施していなかった。教職員を含め、緊急時のマニュアル化と、どのような対策をとるのかを考える必要がある。また、こども園は、避難場所にもなり得る場所、備蓄についても整備する必要が有る。

議会報告会でいただいた質疑・ご意見など

- ・除雪の直営を増やす考えは
- ・旧東・吾妻中学校の活用は
- ・オハラブレイクとは
- ・こども食堂の補助について
- ・ファミリーサポートについて
- ・中津川溪谷のトイレ改修は
- ・猪苗代町は文化面（芸術関係）が弱い
- ・道の駅いなわしろの賑わいをまちなかに広げ、町の活性化につなげてほしい
- ・安心安全のため、水道管の更新時には消火栓が確保できる口径を作してほしい
- ・テーブルに飾ってある花（雰囲気づくり）が良い ※複数意見

この度いただきました貴重なご意見は、今後、よりよい町づくりのための議会活動に反映させていただきます。

議会報告会の次回開催について

9月定例会の報告・意見交換会を、令和7年11月に予定しております。ぜひ、お気軽にご参加ください。

経済厚生常任委員会

上下水道の管理運営

【概要】
本町の上下水道事業は昭和29年に供用が開始され、令和5年度末時点で給水普及率は99%以上と高水準を維持しているが、少子高齢化や人口減少の影響で給水人口は減少傾向にある。施設更新や企業償還の負担が重く、財政運営は厳しい。法定耐用年数を越えた管路が全体の40%以上を占めており、更新が喫緊の課題である。



老朽化対策が必要な猪苗代浄化センター

【意見】
下水道事業についても、施設や機器の老朽化が進んでおり、管路や処理施設内の機器類が耐用年数を超える設備が年々増加している。現在は機器のオーバーホールにより対応しているが、令和8年度以降には本格的な更新が必要になると見込まれている。

今後の事業展開としては、ウォーターPPP（官民連携）の導入検討、災害時の対応強化、老朽施設の計画的な更新などが挙げられている。

下水道の接続率向上については、高齢化や後継者不足が進む地域では難しさがある。これらの課題に対しては、住民の理解と協力を得ながら、さらなる使用料の見直しも視野に入れつつ、持続可能な事業運営を目指していく必要がある。

わたしたちの町 ～猪苗代のみカ～



いわさき えま
岩崎 咲菜 さん (猪苗代第二小学校)

私が住んでいる猪苗代町は、自然豊かで四季の美しさを感じられる町です。しかし、最近は空き家が
増え、子ども達が少なくな
り少しずつ町が静かになっ
ています。
この問題を解決するため
に私は、猪苗代町のみ力を
伝えます。

一つ目は、湖の水質を守
る活動をして猪苗代湖がき
れいであることを発信する
ことです。

二つ目は、スキーです。
猪苗代は雪質が良く、都心
からのアクセスがよいこと
と、初級コースが充実して
いるので、初心者にもおす
めできます。

三つ目は、磐梯山の雪解
け水を利用したお米の発信
です。「天のつば」という
ブランド米もあります。

猪苗代の自然を発信して
観光客を増やし、町の未来
を創ってあげたいいなと
私は考えます。



傍聴においで下さい

9月議会は 9月2日(火曜日) 開会予定です。

【一般質問予定日：8日(月)・9日(火)】
場所 猪苗代町役場3階 議場

※質問者・質問内容につ
いては9月1日以降に
町のホームページ(議
会事務局)に掲載しま
す。また各公共施設に
チラシを掲示しますの
でご覧ください。

掲 示 施 設 名

- ・役場町民ホール
- ・学びいな
- ・和みいな
- ・カメリーナ
- ・町立猪苗代病院
- ・老人福祉センター
- ・まちのえきまるしめ

猪苗代町健康マラソン大会を実施しました



編 集 後 記

容赦のない異常気象、あるのが当
たり前だと思っていたお米不足など
環境の変化に戸惑いを感じる毎日
です▼本年、町政70周年を迎えます。
先達の方が、あらゆる変化にも対応
し、歴史を積み重ねて下さったこと
に感謝申し上げます▼この秋には、
小学生の皆さんを中心に、子供議会
を開催いたします。より良い猪苗代
を目指して、児童の皆さんにも質問
を考えていただきます。私たち議会
も、町民の皆様に関心を持っていた
だけの広報づくりを進めて参ります。

大高 佐代美

広 報 広 聴 常 任 委 員 会

(広報担当)

- 委員長 星野 あけみ
- 副委員長 五十嵐ミエ子
- 委員 山内 浩二
- 委員 大高 佐代美
- 委員 佐藤 英一郎
- 委員 渡辺 真一郎
- 委員 関沢 和人